

令和 8 年度 学習シラバス	整理番号	0901				
教科	家庭 科	科目	家庭総合	単位数	2	単位
学年	1 学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
1 自立した生活を営むために、今までの自分を知り、生涯を見通した自分らしい人生設計を立てる力を育成する。 2 被服の手入れや購入・製作に必要な知識や技術を身に付け、主体的に衣生活をつくっていく力を育成する。 3 環境に配慮しながら有限である資源を生かした経済生活・消費生活を営むことの重要性について理解するとともに、現代社会における消費者問題について知識とその対処方法を学ぶ。 4 家庭や地域社会の役割について考えるとともに、社会保障について知る。	
使用教材	
教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生に関する知識や、適切な情報を収集・整理するなどの技術を総合的に身につけている。 科学的な根拠に基づいて課題を理解し、解決する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生について、その充実向上を目指して課題を発見し、その解決を目指して思考を深め、適切な情報を収集することができる。 課題解決に向けて、工夫し創造する能力を身につけ、論理的に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生について関心を持ち、その充実向上を目指して実践的な態度を身につけ、主体的に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 プリント等の内容・提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	・家庭科を学ぶにあたって 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第7章 衣生活をつくる ・ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージごとの発達課題を把握し、青年期の発達課題を踏まえた上で目標を設定する 夫婦、親子関係で男女が互いに尊重した生き方について知る。 男女共同参画社会への働きや、ワーク・ライフ・バランスを踏まえ、働き方を考える。 被服の役割及び被服の構成について理解する。 課題解決学習(暮らしの中に課題を見つけて解決する学習) 	○	○	○
	第7章 衣生活をつくる 第9章 経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な縫い方や道具の扱い方について技術を習得できる。 被服実習を通して、手作りする喜びや楽しみを体験する。 被服の手入れについて理解する。 衣生活における環境への負荷や、大量消費社会について考え、私たちにできる配慮について理解する。 契約の重要性と、消費者の権利と責任について理解する。 	○	○	○
三学期	第9章 経済生活を営む 第11章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> 第1章を振り返り、働き方について考えることができる。 計画的な家計管理の在り方を考える。 国民経済・国際経済と家庭の経済生活の関連性に気が付く。 社会保障について基本的な仕組みを知り、共生社会について理解し、自らのこととして考えることができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中の家庭分野興味をもち、課題を見つけ、その課題を解決するための知識や技術を習得する態度を身につけましょう。学んだことを実際の生活の中で生かしていきましょう。

開 拓 精 神

				整理番号	0902
教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
1	少子化社会における子育ての重要性を認識し、親になることへの責任や子どもの人権と福祉について学ぶことにより、次世代を育てていくことが親や社会の役割であることを認識する。
2	食生活における生活の営みのプロセスを科学的視点よりとらえ、実習を通じて実践的・体験的に学び、食事の役割や身体の健康を生理的・精神的・社会的側面からとらえる。
3	自分らしい住空間を設計し、快適に住まうための維持・管理について知識や技術を育成する。
4	高齢者の身体的・心理的特徴を知り、家庭や地域社会の役割について考え、社会保障についても考える。
使用教材	
教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について、その充実向上を目指して課題を見だし、解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活に関する技術を総合的に身につけている。
評価方法	・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・プリント等の内容・提出状況	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	・家庭科を学ぶにあたって ・第2章 子どもと共に育つ	・昨年度の学習を確認する ・乳幼児期の保育が人の成長に与える影響に気づく。 ・妊産婦の健康管理とともに家族の協力の重要性に気づく。 ・子どもの特性、人権や福祉を理解し、よりよい環境について考える。	○	○	○
	・ホームプロジェクト	・課題解決学習(暮らしの中に課題を見つけて解決する学習)	○	○	○
二学期	・第6章 食生活をつくる	・食生活の課題について理解し、食べることの意義を考える。 ・栄養と食品について理解する。 ・基本的な調理技術を身につける。 ・調理の手順を考え、実践的な調理ができるようにする。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を身につける。 ・地域につたわる郷土食や行事食を理解する。	○	○	○
	・第8章 住生活をつくる	・平面図を読み取ることができ、住要求にあった空間づくりができるようになる。	○	○	○
三学期	・第3章 高齢社会を生きる	・快適で健康的な住まい方や安全に配慮した住まいのあり方を知り、これからの住生活に防災面や健康面の意識を持つことができる。 ・高齢者の心身の特徴と生活について学び、理解する。 ・これからの高齢社会について課題や改善策等を考えることができる。	○	○	○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中の家庭分野興味をもち、課題を見つけ、その課題を解決するための知識や技術を習得する態度を身につけましょう。学んだことを実際の生活の中で生かしていきましょう。

開拓精神

整理番号	0903
単位数	2 単位

教科	家庭 科	科目	家庭総合
学年	2 学年	学科・コース等	機械電気科

学習到達目標	
<p>1 自立した生活を営むために今までの自分を知り、生涯を見通した自分らしい人生設計を立てる力を育成する。</p> <p>2 被服の手入れや購入・製作に必要な知識や技術を身に付け、主体的に衣生活をつくっていく力を育成する。</p> <p>3 環境に配慮しながら有限である資源を生かした経済生活・消費生活を営むことの重要性について理解するとともに、現代社会における消費者問題について知識とその対処方法を学ぶ。</p> <p>4 家庭や地域社会の役割について考えるとともに、社会保障について知る。</p>	
使用教材	
教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生に関する知識や、適切な情報を収集・整理するなどの技術を総合的に身につけている。 科学的な根拠に基づいて課題を理解し、解決する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生について、その充実向上を目指して課題を発見し、その解決を目指して思考を深め、適切な情報を収集することができる。 課題解決に向けて、工夫し創造する能力を身につけ、論理的に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭、衣生活、経済生活、共生について関心を持ち、その充実向上を目指して実践的な態度を身につけ、主体的に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 プリント等の内容・提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科を学ぶにあたって第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第7章 衣生活をつくる ホームプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージごとの発達課題を把握し、青年期の発達課題を踏まえた上で目標を設定する 夫婦、親子関係で男女が互いに尊重した生き方について知る。 男女共同参画社会への働きや、ワーク・ライフ・バランスを踏まえ、働き方を考える。 被服の役割及び被服の構成について理解する。 	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> 第7章 衣生活をつくる 第9章 経済生活を営む 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な縫い方や道具の扱い方について技術を習得できる。 被服実習を通して、手作りする喜びや楽しみを体験する。 被服の手入れについて理解する。 衣生活における環境への負荷や、大量消費社会について考え、私たちにできる配慮について理解する。 契約の重要性と、消費者の権利と責任について理解する。 	○	○	○
三学期	<ul style="list-style-type: none"> 第9章 経済生活を営む 第11章 共に生き、共に支える 	<ul style="list-style-type: none"> 第1章を振り返り、働き方について考えることができる。 計画的な家計管理の在り方を考える。 国民経済・国際経済と家庭の経済生活の関連性に気が付く。 社会保障について基本的な仕組みを知り、共生社会について理解し、自らのこととして考えることができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<p>日常生活の中の家庭分野興味をもち、課題を見つけ、その課題を解決するための知識や技術を習得する態度を身につけましょう。学んだことを実際の生活の中で生かしていきましょう。</p>

開 拓 精 神

				整理番号	0904
教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	2 単位
学年	3 学年	学科・コース等	機械電気科		

学習到達目標	
<p>1 少子化社会における子育ての重要性を認識し、親になることの責任や子どもの人権と福祉について学ぶことにより、次世代を育てていくことが親や社会の役割であることを認識する。</p> <p>2 食生活における生活の営みのプロセスを科学的視点よりとらえ、実習を通じて実践的・体験的に学び、食事の役割や身体の健康を生理的・精神的・社会的側面からとらえる。</p> <p>3 自分らしい住空間を設計し、快適に住まうための維持・管理について知識や技術を育成する。</p> <p>4 高齢者の身体的・心理的特徴を知り、家庭や地域社会の役割について考え、社会保障についても考える。</p>	
使用教材	
教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活について、その充実向上を目指して課題を見だし、解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	・子どもや高齢者と福祉、食生活、住生活に関する技術を総合的に身につけている。
評価方法	・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・プリント等の内容・提出状況	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	・家庭科を学ぶにあたって ・第2章 子どもと共に育つ ・ホームプロジェクト	・昨年度の学習を確認する ・乳幼児期の保育が人の成長に与える影響に気づく。 ・妊産婦の健康管理とともに家族の協力の重要性に気づく。 ・子どもの特性、人権や福祉を理解し、よりよい環境について考える。 ・課題解決学習(暮らしの中に課題を見つけて解決する学習)	○	○	○
	・第6章 食生活をつくる ・第8章 住生活をつくる	・食生活の課題について理解し、食べることの意義を考える。 ・栄養と食品について理解する。 ・基本的な調理技術を身につける。 ・調理の手順を考え、実践的な調理ができるようにする。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を身につける。 ・地域につたわる郷土食や行事食を理解する。 ・平面図を読み取ることができ、住要求にあった空間づくりができるようになる。	○	○	○
三学期	・第8章 住生活をつくる ・第3章 高齢社会を生きる	・快適で健康的な住まい方や安全に配慮した住まいのあり方を知り、これからの住生活に防災面や健康面の意識を持つことができる。 ・高齢者の心身の特徴と生活について学び、理解する。 ・これからの高齢社会について課題や改善策等を考えることができる。	○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中の家庭分野興味をもち、課題を見つけ、その課題を解決するための知識や技術を習得する態度を身につけましょう。学んだことを実際の生活の中で生かしていきましょう。

開拓精神

整理番号	0905
単位数	2 単位

教科	家庭 科	科目	フードデザイン
学年	3 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 健康や生命に食事は深く関わっていることを理解し、よりよい食生活ができる態度と能力を身につける。 消費者として安全でよい食品を選択できる能力を身につけ、さらに食と環境の関わりについて理解する。 食品の特性を知り、その食品にあった調理の基本を理解し、日常の料理に応用できる能力を身につける。 	
使用教材	
教科書	フードデザイン Food Changes Life (教育図書)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する技術を身につけている。 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活を総合的に据えて計画・実践するために課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に関する諸問題に関心を持ち、食育の推進に向けて積極的に取り組もうとする意欲と態度を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 プリント等の内容・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> 人間にとっての食べることの意義を考える。 自分の体脂肪を知り、食生活を見直すきっかけとし、欠食、過食、孤食などの問題点を理解する。 外食・中食の問題点と内食の利点について考える。 調理実習を通して、基本的な知識・技術を身につける。 各栄養素の働きとその特性、それを多く含む食品を理解し、献立作りについて実践的に学習する。 	○	○	○
	第4章 調理してみよう		○	○	○
	第2章 栄養素と食品		○	○	○
二学期	第2章 栄養素と食品	<ul style="list-style-type: none"> 各栄養素の働きとその特性、それを多く含む食品を理解し、献立作りについて実践的に学習する。 食の衛生と安全性について知る。食品選択についても考える。 食卓を飾る意義を考える。 文化祭で作品の展示をする。 クリスマスメニューの実習を行いテーブルコーディネートについても工夫する。 	○	○	○
	第3章 食品の選択と取り扱い		○	○	○
	第5章 各国料理とコーディネート		○	○	○
三学期	第6章 食育と食育推進活動	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進の取り組みや食文化について知り環境についても考える。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
「食育」が果たす役割の重要性を理解し、健康・環境等に優しい食の在り方とはなにか考える態度を養いましょう。調理技術だけでなく食卓をデザインするという視点を持ち、体験的・実践的な学習に取り組みましょう。

開拓精神

令和	8	年度	学習シラバス	整理番号	0906
教科	家庭	科	科目	保育基礎	単位数
学年	3	学年	学科・コース等	普通科	2
					単位

学習到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 ・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。 ・保育実習を通して児童文化財の利用方法を考察し、実際の保育活動に役立てる。 	
使用教材	
教科書	子どもの発達と保育（実教出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。 ・子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特徴や発達過程に対応した技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み育てることや家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・プリント等の内容・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習計画を知り、到達目標を確認する。 ・乳幼児期は、親を中心とした保育者との関わりにより心身共に発達していくことを理解する。 	○	○	○
	第2章 子どもの発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人への聞き取り調査や母子健康手帳を確認し、自分の発育の過程を振り返る。 	○	○	○
	第3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び、読み書き、運動遊びなど、実際に活動することで、子どもの心を引きつける教具・環境作りなどを理解し、実践的活動を行う。 	○	○	○
二学期	第2章 子どもの発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・精神発達の特徴を理解し、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 ・保育者・乳幼児相互の「愛着」が重要であり、よりよい保育態度について考える。 	○	○	○
	第3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的、社会的な生活習慣を理解し、健康管理や事故防止の観点からも保育者のかかわりの重要性に気づく。 	○	○	○
	第4章 子どもの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものために受け継がれてきたおもちゃやおはなし、歌などの児童文化財や児童文化施設などを学習する。 	○	○	○
三学期	第5章 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもはかけがえのない存在としてその人権が保障されている。子供観の変遷や子どもの権利について学習する。 ・子ども、子育て家庭を支えるために社会ができることを考える。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
将来よい保育者となるために乳幼児の発達や保育について理論の学習をすすめていきます。校内の実習やボランティア活動に積極的に参加することで理解が深まります。幼児服に関する被服製作の実習もあります。

開拓精神